

令和6年度 児童養護施設静岡ホーム事業報告

「キリストの愛」と児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、倫理綱領等に則り、すべての職員が一体となって「子どもの最善の利益」に適うよう、児童の権利を擁護し、自立に向けた支援計画を策定して、子どもたち一人ひとりが個性豊かでたくましく思いやりのある人間として育ち、自立した社会人として生きていくことができるよう、多様な社会経験を積める機会を提供し、養育・支援を行った。

子どもたちが「できる限り良好な家庭的環境」において生活できるよう、小規模施設4棟を設置・運営するとともに、本体施設の小規模ユニットケアに向けた大規模修繕工事に着手した。

令和6年度から児童養護施設の多機能化の一環として、「児童自立生活援助事業(Ⅱ型)」を開始した。

1 養育・支援

(1) 入退所児童の状況

何らかの事情により家庭での養育が困難又は受けられなくなった子どもの養育は、平成28年改正の児童福祉法において「家庭養育優先原則」の考えが打ち出され、「家庭における養育環境と同様の養育環境（里親家庭での養育等）」が優先的に考慮されることになった。児童養護施設に対しては、「できる限り良好な家庭的環境」としていくための地域分散化、小規模化が求められており、施設で暮らす子どもの人数は減少傾向にある。

こうした中、今年度は、5人が入所し、13人が退所、月平均の在籍児童は51.2人で、定員（67人）に対する充足率は76.4%であった。

＜入退所児童の状況＞

（単位：人）

区分	入所児童					退所児童				
	家庭	乳児院	他施設	里親	計	家庭引き取り	自立	グループホーム	Ⅱ型移行	計
人数	2	1	2	0	5	8	1	2	2	13

＜在籍児童数の推移＞

（単位：各月初日、人、％）

年度		29	30	1	2	3	4	5	6
在籍児童数	延人数	803	770	784	742	706	722	643	614
	月平均	66.9	64.2	65.3	61.8	58.8	60.2	53.6	51.2

(2) 一時保護児童の受入れ

児童相談所における虐待対応件数の増加を背景として、児童相談所一時保護所は満床に近い状況であり、本施設では児童24人、延べ180日の委託一時保護を受け入れた。受託日数の平均は7.5日で最長は48日であった。

また、一時保護児童の「教育を受ける権利」を保障するため、可能な限り学校への送迎を行った。

(3) 食生活の向上

新メニュー開拓及び献立に関する希望や感想など、子どもの声を取り入れ、飽きの来ない献立作りに努めた。また、おやつやお弁当のおかずについてもアンケートを実施し、可能な限り子どもの希望に沿うメニューを提供し、体調不良の児童には、個々の体調に合わせた食事提供を心掛けた。

嗜好調査は、ルールやマナーについて子どもたちの考えや思いを汲み取れるような設問を作るなど工夫を凝らして年2回実施した。

地域小規模児童養護施設（分園型小規模グループケアを含む）においては、施設ごとに献立を作成し、子どもが職員と一緒に買い物や調理を行うなど、食生活の向上に努めた。

また、園内の畑でジャガイモ、大根、ラディッシュ等を育て、毎日の水やりを通してその成長過程を子どもと共に見守り、収穫し、食し、食材にも興味が持てるような機会を設ける等、食育に努めた。

なお、食生活委員会では各グループでの調理体験（もぐもぐクラブ）を実施した。普段食する機会の少ないメニューを計画し、味付けや具材を子どもたちと一緒に考え、調理を行ったり、買い物体験を取り入れ、食材購入から実施することで、子どもの食に対する知識や興味関心の向上を図った。取り組みの様子は“もぐもぐ通信”として各グループに配布し、互いのグループの様子を共有できるポスター形式のツールを作成した。

(4) 衣習慣の習得

衣服は、清潔で身体や季節に合うものを選択するとともに、好みや個性を大切にしながら衣服を通じて適切に自己表現できるよう支援した。

また、購入には職員と一緒に出かけ、年齢や一人ひとりの子どもの状態にあった整理の仕方やTPOを意識した衣習慣が身につくよう支援した。

(5) 住環境の整美

住環境を整えるため、日々の掃除に努めるとともに、子どもたちと一緒に清掃する機会を増やすことで職員だけでなく子どもたちにも清掃の大切さを体感する機会を設けた。

また、各グループの家具や壁等の破損箇所は、速やかに修繕することで常に心地よい環境を整えた。

(6) 性に関する教育

安心・安全な施設生活を目指し、自立・共生の力を育むため、生（性）に関する正しい知識や関心が持てるよう、性教育委員会（かえでの会）を中心に「プライベートゾーン、プライベートエリア、回避行動（ノー・ゴー・テル）」を基本とする年齢別の学習会を延べ14回実施した。（個別対応も含む）

(7) 子どもの主体性を育む余暇活動

社会への適応力を高め、豊かな人間性を育てるため、子どもたちの意向を踏まえた園行事を企画し実施した。

クリスマス祝会や節分豆まき、夏のキャンプ、冬のスキーなど季節に合わせた行事を実施すると共にレストランでの食事会をグループごとで実施し、外食の機会を提供した。

各種団体の招待・訪園行事は、Jリーグの清水エスパルスや安倍川花火大会など、スポーツや文化に触れる機会を持ち、子どもたちが楽しみながら感性を磨き情操を育むよう努めた。

また、情緒を安定させ自立を支援するため、ピアノ教室と手芸教室を開講し、発表会を開催するなど、表現活動の場を設けた。

(単位：件)

園企画行事	招待・訪園行事	県養協行事
68	35	4

(8) 学習・進学支援

基礎学力の向上と学習習慣の定着を図るため、主に小学生を対象に個々の能力に合った公文式学習に取り組んだ。目標を設定することで、主体的に学習に向かえる児童が増え、日々担当職員に学習の様子を見てもらうことよって、自己肯定感が育まれた。

また、一部児童については、中学進学後も公文学習を継続して行い、作業力や継続力を身に付け、進路について考えるきっかけとしている。

なお、学習及び公文担当職員が定期的に各グループの子どもたちの学習状況を直接確認すると共にアンケート方式で意見を聴き取り、学習進度の調整や意欲向上に繋げている。さらに、公文法人部と協力し、3ヵ月に1度の静岡地区会への参加や他施設見学を通して様々な取り組み方について学び当施設の取り組みに生かしている。

こういった取り組みに加え、学習ボランティアの活用や中・高校生の通塾により、大学等の高等教育への進学意欲が高まっている。

(9) 心理的ケアの充実

愛着形成や自己肯定感の向上を図るため、グループセラピー、児童相談所嘱託医による心理的・医学的知見を現場へ伝えるスーパーバイズを実施した。

また、個別のケアが必要な児童については、静岡市児童相談所におけるプレイセラピーや園内の個別面接で対応し、それ以外の児童は生活場面の要所で心理的知見に基づく関わりやアドバイスを通じて日常的にケアを行った。

(単位：回)

スーパービジョン	グループセラピー	グループ心理療法	プレイセラピー	個別面接
12回(毎月)	6回	10回	延108回	延122回

(10) 自立支援の充実

○ 入所児童の自立支援

小中学生を対象とした CCP（キャリア・カウンセリング・プロジェクト）を行い、『こんな大人になりたい・将来こんなことをやってみたい』といった将来に対して肯定的な展望を持てるよう支援した。

また、施設退所後に自立を予定している高校性を対象に、一人暮らしを疑似体験させることで退所後の生活をより具体的にイメージできるよう、自活訓練を実施した。

○ 退所児童へのアフターケア

施設を退所し自立する児童には、行政手続きや金融機関の口座開設に同行し、自立した児童には、定期的な電話やメール、家庭訪問により生活状況を確認し、生活上の相談・指導を行うことで社会的自立を支えた。

○ 静岡ホーム自立支援基金による支援

入所児童の就職又は大学等への進学若しくは修学に際し必要な経費に充てるため、寄付金を原資として静岡ホーム自立支援基金を設置している。また、預貯金がなく、入学金、授業料等の入学時納付金等の納付が困難な者に対する無利子貸し付けに関する規定を設けている。（支援対象者5人）

対象児童	支援項目	件数	支援内容
入所児童	ソーシャルスキルアップ	4	・掃除洗濯等生活支援（通年支援） ・調理体験 ・自活訓練支援（高校生2人・1～2週間/人） ・アパートの内覧同行、契約関係書類の作成支援 ・銀行口座開設手続き同行
	自立支援教育	20	・CCP（キャリア・カウンセリング・プロジェクト） ・職業相談、VRT 職業興味検査 ・企業見学（中高生） ・(株)東海道シグマ「新社会人セミナー」
退所児童	電話・メール	304	・近況確認 ・相談援助（体調不良、人間関係、近隣トラブル、税金、各種行政手続き など） ・生活支援（通院同行、引越し・部屋掃除手伝い など） ・就労支援（関係機関との連絡調整、就労継続のための職場訪問、離職手続き など）
	来園面接	75	
	職場訪問	1	
児童自立生活援助事業Ⅱ型	電話・SNS	114	・近況確認 ・家計簿の確認による金銭管理状況の把握 ・奨学金、他給付金の書類作成指導や入金手続き ・相談援助（体調不良、人間関係、近隣トラブル、税金、各種行政手続き など）
	面接	5	
計		523	

2 家族への支援

児童の早期家庭復帰や親子関係の修復・再構築に向け、家庭訪問や親の仕事の都合・家庭状況に合わせた月2回の定期的な面会・外出・外泊と夏季・冬季における1週間の長期外泊を実施した。

また、家庭訪問を実施してのアフターケアや、児童相談所と保護者との間を仲介し交流に結び付けたケースもあった。

交流前は、保護者に施設や学校等での様子（幼児や低学年児は担当職員との交流ノートを活用）を伝え、交流後は、家庭での様子を確認するとともに、面談を希望する保護者から個別に子どもの養育や今後の交流について相談を受けた。

その結果、家庭引き取りとなったケースが6家庭7名、交流を開始したケースが4家庭5名であった。

なお、家庭状況の悪化等により交流を一時停止したケースは6家庭9名であった。

3 自立支援計画

子どもの権利を保障し適切な養育を行うため、一人ひとりの子どもの心身の発達と健康の状態及びその置かれた環境を的確に把握・評価（アセスメント）し、養育支援と家庭復帰支援からなるケアプランを作成した。

「つながる力」、「挑戦する勇気の力」、「能力」、「かけがえのない自分を認める力」の4項目を高める支援を軸に、医療面、心理面、ファミリーソーシャルワークなど、具体的な支援内容が設定されているため、処遇職員はエビデンスに基づいた養育支援に努め実行した。

子どもが納得したうえで作成されたケアプランは、子ども自身が目標達成に向けて前向きに取り組み、自立支援を支えた。

4 権利擁護

(1) 人権擁護と人権侵害の防止

子どもたちの人権を守り、子どもたちが安心して生活が営めるよう、静岡県児童養護施設協議会主催の権利擁護推進研修会への職員の参加、「懲戒に係る権限の濫用禁止（平成10年2月18日）」及び「被措置児童等虐待対応ガイドライン（児童福祉法第33条の10）」の周知と「児童養護施設における人権擁護のためのチェックリスト」による自己点検、投書箱「こどもの声」の設置などにより、人権擁護と人権侵害の防止に努めた。

(2) 被措置児童等虐待の防止

子どもたちに対する虐待や虐待を疑わせる行為、或いは虐待と受け止められる行為の防止について徹底を図るため、グループ会議の議題に取り上げ、加えて職員会議で再確認する場を設けて職員全体で被措置児童等虐待防止に取り組んだ。

児童の逸脱行動には複数の職員で対応し、虐待を疑われる状況が発生しないよう努めた。

また、投書箱「こどもの声」を設置することで子どもたちからの直接的な訴えができる環境を用意し、安心・安全で透明性の高い養育を心掛けた。

5 事故防止と安全対策

災害時における児童の安全を確保し被害の軽減を図るため、消防設備機器等の取扱いを学ぶとともに、火災・地震を想定した定期的な通報・消火・避難訓練を実施した。

施設設備に起因した事故や災害等を未然に防止するため、建築基準法等に基づいた建築設備定期検査、消防設備点検、電気設備点検、貯水槽点検・清掃などを実施した。

今年度は、高校生の自転車通学中の交通事故と一時保護児童（小学生）の食物アレルギーによるアナフィラキシー症状の2件の事故が発生した。また、事故には至らなかったものの、児童間のトラブル等114件のヒヤリハットが発生した。

事故やヒヤリハットのリスク要因を分析し、職員間で共有するとともに、子どもたちへの指導や対策を講じることにより、事故の未然防止に努めた。

6 新型コロナウイルス感染症対策

今年度、児童9名、職員11名が新型コロナウイルス感染症に感染した。

児童の感染が確認された際は、陽性児童は政府の外出控え推奨期間の5日間、個室で隔離・静養を行い、その他の児童もグループ間の交流を控える等、施設内での感染拡大防止に努めた。

7 地域交流と地域支援

(1) 地域との交流

地域に開かれた施設としてグラウンドや楓ホールを開放するとともに、町内会との防災訓練や子ども会行事を含む町内行事に参加し、交流を深めた。

また、子どもたちの学習やイベントなどを支援するボランティアを積極的に受入れた。

(2) ショートステイの受入れ等の地域支援

保護者の疾病等の理由により、家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童を入所させ保護を行った。今年度のショートステイは本体施設の大規模修繕工事の影響もあり、1ケース、2日であった。

また、近隣大学への講師の派遣や関係機関・団体の施設見学について、可能な限り対応した。

8 職員の専門性の向上

被虐待児の入所が半数を超え、支援困難なケースや発達障害を有する児童が増加しており、養育を担う職員のより高い専門性が要求されている。

また、地域小規模児童養護施設等のグループホームや今後整備される本体施設の小規模ユニットにおいては、職員一人ひとりの力量が問われ、知識・技術・経験に裏打ちされた養育が必要とされる。職員のスキルアップを図り、専門性を高めるため、全養協等関係団体主催の専門研修に参加すると共に、職場内研修ではCAREプログラムやコモンセンス・ペアレンティング習得に加え、スーパーバイザー（児童相談所OB）による経験年数別（初任、2,3年目、中堅）の研修や実践に即したロールプレイによるスキルアップ研修を行った。

9 施設の運営

(1) 会議・委員会等の開催

子ども一人ひとりの養育の向上と円滑な施設運営を図るため、施設内における各種会議や委員会を開催するとともに、関係機関との連絡会を開催した。

○施設内の各種会議

名称	開催回数	内容
運営会議	12	施設の運営方針等重要事項、課題等の検討
職員会議	11	施設運営に関わる事項（運営・指導方針、行事予定、提案事項等）の調整、周知
グループ会議	11	児童の生活支援等グループ運営事項（運営計画・自立支援計画・児童処遇・行事等）の調整
ケース検討会議	10	支援及びケアプラン内容の評価及び協議・検討
ケース会議	随時	ケースの支援・進路方針等の協議調整
朝会	毎日(日-祝除く)	日々の連絡調整
昼会	毎日(土日祝除く)	日々のケースの共有
サービス向上推進会議	9	第三者評価結果に対する改善事項の協議調整
食生活委員会	11	食を通じた健康・衛生・嗜好を知る機会の提供
性教育委員会	11	性教育の実践
広報委員会	12	広報誌の発行、HPの更新等の調整
防災対策委員会(防災会議)	12	消防計画の委員会審議事項の協議調整、防災訓練の実施 ＊書面会議含む
苦情解決第三者委員会	1	第三者委員との定期協議
養保連絡会	4	児童養護施設と保育所との連携業務の調整

○関係機関との連携

児童相談所、幼稚園、小中高等学校、里親家庭支援センター など

(2) 人事・労務・健康管理

ア 職員の確保

措置費加算対象の基幹的職員、心理療法担当職員、里親支援専門相談員、家庭支援専門相談員、職業指導員、看護師、学習指導員、特別指導員、地域小規模児童養護施設等バックアップ職員を加配するとともに、地域小規模児童養護施設等々の職員を1人ずつ増員し、養育・支援体制の充実を図った。

また、保育士及び児童指導員については、ホームページへの求人の掲載、大学等への求人票の提出、インターンシップの受入れ、求人サイトの活用により、本年度は7人の新卒者を採用した。

イ 職員の健康の維持

勤怠管理システムを導入し、勤務シフトや勤務時間を管理、長時間労働の是正に努めた。また、年 2 回の健康診断の実施やインフルエンザの予防接種、リフレッシュ休暇（年 2 回の 4 連休）の取得促進などにより、職員の心身の健康の維持・増進を図った。

(3) 施設・設備の保全

安全で快適な生活環境と施設機能の維持・耐久性の確保のための保守・点検を行い、故障・破損した施設・設備の補修、備品の買い替え等を行った。本体施設においては大規模修繕工事期間のため、補修は最低限に控えるとともに、工事による不便な状況を少しでも快適に暮らすことができるよう環境整備に努めた。

○施設・設備（建物以外の基本財産、固定資産に当たるもの及び 30 万円以上の修繕等）

児童仮居室整備工事

めぐみ・なごみ駐輪場増設工事

(4) 施設運営の質の向上

令和 6 年 11 月に第三者評価を受審した。前回（令和 3 年度）受審時の結果に基づき、児童養護施設運営指針に掲げられている目指すべき状態に近づけられるよう、サービス向上推進会議において課題改善に努めた結果、多くの項目で高い評価が得られた。

(5) 福祉専門職養成校実習生の受入れ

県内外の大学、短期大学、専門学校福祉専門職養成校に在籍する学生 19 人の施設実習を受け入れ、福祉分野への就労を志す者の養成に寄与した。

また、児童福祉施設業務を体験し、知識を深めたいとする学生についても、児童のプライバシーの保護と安全に十分配慮しながら 4 人をインターンとして受け入れた。

〈実習〉

（単位：校、人、日）

区分	保育実習Ⅰ	保育実習Ⅲ	ソーシャルワーク実習	計
実習校	5	2	4	11
実習生	12	3	4	19
実習延日数	122	30	120	272

10 広報活動の推進

開かれた施設運営を目指すと共に、より多くの方々に施設の取り組みを知っていただくため、広報誌「メープルスマイル」やホームページにより、子どもたちの生活の様子などを発信した。

11 里親支援

里親家庭への訪問及び電話・メール相談、児童相談所を含む里親支援機関との連携、里親認定前研修の講義・実習を行い静岡ホームで生活する子どもたちのニーズについて共有することで支援に繋げた。

また、子どもから里親利用について積極的な発信があり、家庭支援専門相談員やユニット担当職員、関係機関と協働しながら子どもの最善の利益が実現されるように努めた。

＜相談支援＞

(単位：件)

訪問	来園・面接	電話・メール	計
1	15	15	31

＜里親認定前・更新研修＞

(単位：人)

認定前研修		更新研修
講義	実習	
6	5	0

＜ショートルフラン里親利用状況＞

(単位：人、日)

利用実児童数	延べ利用児童数	延べ利用日数
20 (うち定期的利用 15)	123	350

12 施設の小規模・地域分散化の推進

施設の小規模・地域分散化を進め、「できる限り良好な家庭的環境」において子どもたちを養育できるよう、4 か所設置している地域小規模児童養護施設等に加え、本体施設の小規模ユニットケア化に向けた大規模修繕工事（令和 6～7 年度）に着手した。

区 分	請負業者	金 額	備 考
設計監理業務	(株)金丸建築設計事務所	23,980,000 円	基本設計 ⑤ 4,180,000 円
			実施設計 ⑥ 12,100,000 円
			監理 ⑦ 7,700,000 円
大規模修繕工事	(株)佐藤工務店	584,100,000 円	⑥40% 233,640,000 円
			⑦60% 350,460,000 円

※設備整備費等を除く。

13 児童自立生活援助事業(Ⅱ型)の実施

児童養護施設の高機能化及び多機能化・機能転換を推進するため、令和 6 年 4 月 1 日付けで「静岡ホーム児童自立生活援助事業所(Ⅱ型)」を設置し、年齢超過により児童養護施設への措置を解除された者への継続支援を行った。

区 分	大学生	短大生	専門学校生	その他	計
人 数	1	1	0	0	2人

《附属明細書》

1 入退所状況

(1) 入退所状況

(単位：人)

区分	令和5 年度末	入 所							退 所						令和6 年度末
		家庭	乳児院	児童養護 施設	児童自立 支援施設	里親	その他	計	家庭	グループ ホーム	Ⅱ型 移行	自立	その他	計	
男	20	1	0	0	1	0	0	2	4	0	2	0	0	6	16
女	31	1	1	0	1	0	0	3	4	2	0	1	0	7	27
計	51	2	1	0	2	0	0	5	8	2	2	1	0	13	43

(2) 月別在籍児童数

(単位：人、％)

区分	定員	初日在籍児童数												充足率
		施設別					学齢別						計	
		本園	のぞみ	めぐみ	ひかり	なごみ	幼児	小学生	中学生	高校生	大学等	その他		
6年4月	67	31	6	6	5	6	5	17	12	15	4	1	54	80.6%
5月	67	29	6	6	6	6	4	17	12	15	4	1	53	79.1%
6月	67	30	6	6	6	6	5	17	12	15	4	1	54	80.6%
7月	67	29	6	6	6	6	5	17	12	15	4	0	53	79.1%
8月	67	28	6	6	6	6	5	17	12	14	4	0	52	77.6%
9月	67	28	6	6	6	6	5	17	12	14	4	0	52	77.6%
10月	67	28	6	6	6	6	5	17	12	14	4	0	52	77.6%
11月	67	25	6	6	6	6	5	15	12	14	3	0	49	73.1%
12月	67	25	6	6	6	6	5	15	12	14	3	0	49	73.1%
7年1月	67	26	6	6	6	6	5	15	13	14	3	0	50	74.6%
2月	67	24	6	6	6	6	5	14	13	13	3	0	48	71.6%
3月	67	24	6	6	6	6	5	14	13	13	3	0	48	71.6%
計	804	327	72	72	71	72	59	192	147	170	43	3	614	76.4%

(3) 一時保護児童数

(単位：人)

区分	6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年1月	2月	3月	計
児童数	1	1	0	0	1	1	1	4	5	2	6	2	24
延人数	1	7	0	0	2	2	2	8	17	16	86	39	180

*実人員は20人

2 入所児童の状況

(1) 年齢・男女別児童数

(令和7年3月1日在籍児童：人)

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳以上	総数	平均年齢
男	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	1	2	1	2	1	2	2	3	18	13.7
女	0	0	1	0	1	1	1	1	3	3	0	1	2	4	3	0	4	5	30	13.3
計	0	0	1	0	3	1	1	2	3	4	1	3	3	6	4	2	6	8	48	13.5

(2) 措置時の年齢

(令和7年3月1日在籍児童：人)

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	総数	平均年齢
男	0	5	1	0	1	0	1	2	0	0	2	2	2	1	1	0	0	0	18	8.4
女	0	8	2	4	4	0	2	2	2	1	0	1	2	2	0	0	0	0	30	6.6
計	0	13	3	4	5	0	3	4	2	1	2	3	4	3	1	0	0	0	48	7.2

(3) 在籍児童の在所要期間

(令和7年3月1日在籍児童：人)

区 分	児童数	区 分	児童数	区 分	児童数
1 年未満	5	7 年以上 8 年未満	4	14 年以上 15 年未満	3
1 年以上 2 年未満	4	8 年以上 9 年未満	3	15 年以上 16 年未満	0
2 年以上 3 年未満	4	9 年以上 10 年未満	3	16 年以上 17 年未満	1
3 年以上 4 年未満	10	10 年以上 11 年未満	4	17 年以上 18 年未満	0
4 年以上 5 年未満	2	11 年以上 12 年未満	1	18 年以上	0
5 年以上 6 年未満	2	12 年以上 13 年未満	0	計	48
6 年以上 7 年未満	0	13 年以上 14 年未満	2	平均在所要期間	6 年 2 月

(4) 出身地別児童数

(令和7年3月1日在籍児童：人)

措置機関	静岡県	静岡県								浜松市	計
市町	静岡市	沼津市	島田市	富士市	焼津市	藤枝市	袋井市	牧之原市	吉田町		
人数	32	0	0	2	3	5	0	3	2	1	48
		15									

(5) 措置理由別児童数

(令和7年3月1日在籍児童：人、％)

入所理由（主訴）	人数	割合	入所理由（主訴）	人数	割合
父母の死亡	0	—	父母の放任怠惰	11	22.9
父母の行方不明	0	—	父母の虐待	12	25.0
父母の離婚	0	—	父母の養育拒否	4	8.3
父母の不和	1	2.1	棄児	0	—
父母の拘禁	1	2.1	破産等経済的理由	2	4.2
父母の入院	3	6.3	児童の監護困難	3	6.3
父母の就労	1	2.1	その他	4	8.3
父母の精神障害	6	12.5	計	48	100.0

(6) 被虐待児童数 (令和7年3月1日在籍児童：人、％)

虐待の種類	人数	割合
身体的虐待	13	27.1
性的虐待	0	—
ネグレクト	16	33.3
心理的虐待	3	6.3
実人員	32	66.7

(7) 入所経路

(令和7年3月1日在籍児童：人、％)

区分	家庭	乳児院	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	里親	ファミリーホーム	その他	計
人数	28	11	0	1	4	3	0	1	48
割合	58.3	22.9	—	2.1	8.3	6.3	—	2.1	100.0

(8) 保護者の状況

(令和7年3月1日在籍児童：人、％)

区分	実父母あり	実父のみ	実母のみ	実父と養(継)母	祖父母	里親	なし	その他	不明	計
人数	15	1	29	2	1	0	0	0	0	48
割合	31.3	2.1	60.4	4.2	2.1	—	—	—	—	100.0

(9) 児童の心身の状況

(令和7年3月1日在籍児童：人)

健全	26	心的外傷後ストレス障害（PTSD）	0
身体虚弱	0	反応性愛着障害	3
肢体不自由	1	注意欠如多動症（ADHD）	5
視聴覚障害	0	限局性学習症（LD）	2
言語障害	1	自閉スペクトラム症（ASD）	10
知的障害(IQ69以下)	6	適応障害	0
てんかん	0	その他	2

*医師の診断によるもの 重複あり

(10) 児童の罹患傾向

(令和7年3月1日在籍児童：人)

ほとんど病氣しない	13	ぜんそく	3
ひきつけをすることがある	0	食物アレルギー	1
下痢をしやすい	2	その他のアレルギー	7
よく熱を出す	0	花粉症	17
風邪をひきやすい	0	その他	11
湿疹が出やすい	4		

*重複あり

(11) 退所児童の在学期間

(令和6年度退所児童：人)

区 分	児童数	区 分	児童数	区 分	児童数
1 年未満	0	7 年以上 8 年未満	1	14 年以上 15 年未満	0
1 年以上 2 年未満	3	8 年以上 9 年未満	1	15 年以上 16 年未満	0
2 年以上 3 年未満	0	9 年以上 10 年未満	1	16 年以上 17 年未満	0
3 年以上 4 年未満	1	10 年以上 11 年未満	1	17 年以上 18 年未満	0
4 年以上 5 年未満	0	11 年以上 12 年未満	0	18 年以上	0
5 年以上 6 年未満	1	12 年以上 13 年未満	1	計	13
6 年以上 7 年未満	2	13 年以上 14 年未満	1	平均在学期間	6年5月

(12) 中高生の進路

(令和7年3月末：人)

区分	措置継続	措置解除	計
中学生	県立駿河総合高等学校 静岡北高等学校 県立特別支援学校高等部 2人	—	4
高校生	静岡福祉大学 聖隷クリストファー大学 静岡デザイン専門学校	静岡産業大学 鈴木学園中央調理製菓専門学校 就労（グループホーム）2	7

3 性教育の実施内容

対象児童	内容	実施回数
幼児	いいタッチ・わるいタッチ プライベートゾーン プライベートエリア 不審者と出会ったらどうするか	1
小学1～3年生	いいタッチ・わるいタッチ プライベートゾーン プライベートエリア 回避行動（実践含む）	2
小学4～6年生	プライベートゾーン プライベートエリア 回避行動 洗体、洗髪の方法 二次性徴 ナプキンのつけ方（女兒のみ）	4
中学生	身体の仕組み 二次性徴 思春期の変化 身体についての相談	4
高校生	性欲のコントロール・性交 妊娠・避妊・中絶 性的同意	4

4 行事の実施状況

(1) 園企画行事

(単位：人)

月日	行事名	グループ名	児童数
4/4	新入学児童 ディズニーランド外出	女子 男子 のぞみ なごみ	7
5/3	ドライブ	女子	1
5/3	在園児外出「てんとう虫パーク」	小学生	3
5/3	在園児外出「香りの博物館」	なごみ	4
5/4	在園児外出「キウイフルーツカントリー」	のぞみ ひかり	8
5/5	在園児外出「富士サファリパーク」	幼児	3
5/5	在園児外出「てんとう虫パーク」「サイゼリヤ」	めぐみ	5
5/6	在園児外出「映画外出」	全グループ	31
5/7	在園児外出「カラオケ、外食」	なごみ	5
6/15.16	グループ行事「園内キャンプ」	男子	6
7/30.31	グループ行事「キャンプ」	めぐみ	6
7/31	グループ行事「サイゼリヤ」	めぐみ	4
7/31	グループ行事「花火」	ひかり	6
7/31	グループ行事「ラグーナテンボス」	のぞみ	6
8/1	グループ行事「テニス」	ひかり	6
8/2	停電による臨時行事「ぶるる」	小学生	8
8/2	停電による臨時行事「安部ごころ・はま寿司」	幼児	4
8/2	停電による臨時行事「笑福の湯」	男子	4
8/10	停電による臨時行事「映画鑑賞」	女子	1
8/2	停電による臨時行事「ぬくもりの森」	女子	1
8/2	グループ行事「村松さんご自宅」	女子	4
8/8	グループ行事「木下さんご自宅」	ひかり	6
8/9	グループ行事「映画鑑賞」	幼児	5
8/10	在園児行事「映画鑑賞」	全グループ	16
8/14	在園児行事「名古屋港水族館」	全グループ	27
8/21	グループ行事「映画鑑賞」	ひかり	6
8/21	グループ行事「富士マリンスプール」	小学生	8
8/26.27	グループ行事「グランピング」	女子	4
9/8	グループ行事「マリンスプール・マクドナルド」	めぐみ	4
9/21	グループ行事「温泉」	男子	2
9/28	グループ行事「村松さんご自宅」	ひかり	6
10/12	グループ行事「玉川自然広場」	男子	5
10/19	グループ行事「浜名湖体験自然施設ウォット」	ひかり	6
10/27	園内行事「花火大会」	全グループ	38
11/10	グループ行事「サイクルスポーツセンター」	のぞみ	6

11/30	グループ行事「食品サンプル」	ひかり	6
12/8	グループ行事「公園・五味八珍」	幼児	4
12/20	グループ行事「時之栖」	めぐみ	6
12/28	在園児外出「映画鑑賞」	全グループ	21
1/1	在園児行事「初詣」	全グループ	23
1/2	在園児外出「はま寿司」	幼児	2
1/2	在園児外出「ガスト」	のぞみ	3
1/2	在園児外出「丸源ラーメン」	男子	4
1/12	グループ行事「サイクルスポーツセンター」	小学生	5
1/24	送別会「ガスト」	女児	4
1/25	グループ行事「スノーパークイエティ」	男子	5
1/30	グループ行事「ガスト」	なごみ	6
2/2	グループ行事「映画鑑賞」	小学生	7
2/10	グループ行事「丸源ラーメン」	めぐみ	6
2/11	グループ行事「なぎさ園」	幼児	4
2/16	グループ行事「てんとう虫パーク」	ひかり	6
2/16	グループ行事「蓮華寺池公園・ガスト」	小学生	5
2/22	グループ行事「ラウンドワン」	なごみ	6
2/25	グループ行事「しゃぶ葉」	女子	3
3/1	卒業祝い「サーティワンアイスクリーム」	女子	3
3/1	グループ行事「三島スカイウォーク」	めぐみ	5
3/1	グループ行事「まるしば農園」	なごみ	5
3/5	出発式「サーティワンアイスクリーム」	男子	7
3/15	グループ行事「映画鑑賞」	ひかり	6
3/16	園内行事「ピアノ・手芸発表会」	小学生 なごみ	8
3/16	グループ行事「ガスト」	ひかり	6
3/20	グループ行事「omocya」	のぞみ	5
3/24	グループ行事「焼肉いちばん」	なごみ	6
3/25	グループ行事「映画鑑賞・マクドナルド」	幼児	4
3/25	グループ行事「早川農園」	のぞみ	5
3/26	グループ行事「沼津港深海水族館・ららぽーと」	幼児	4
3/26	グループ行事「ピアースベーカリー」	小学生	5
3/29	公文お疲れ様会	全グループ	20
68回			延477人

(2) 招待・訪園行事

月日	行事名	グループ名	児童数
4/3	Jリーグ観戦招待	女子	2

4/20	Jリーグ観戦招待	のぞみ	3
6/8	Jリーグ観戦招待	めぐみ	3
6/16	あいネットサービス「ピュール」	のぞみ 幼児	4
7/5	乳児院夏祭り	幼児	5
6/30	Jリーグ観戦招待	女子	2
7/6	Jリーグ観戦招待	めぐみ	3
7/15	三菱電機労働組合	めぐみ ひかり 小学生 なごみ のぞみ	17
7/20	安倍川花火大会	小学生 ひかり めぐみ のぞみ なごみ	18
7/26	SC サマーパーティー	のぞみ めぐみ なごみ 小学生 ひかり	18
7/30	バンブー まる大	幼児	5
8/1	バンブー まる大	ひかり	6
8/5	バンブー まる大	小学生	8
8/6	バンブー ホルモンたけ田	女子	3
8/7	夏休み 映画招待	小学生 めぐみ ひかり なごみ のぞみ	17
8/9	バンブー まる大	のぞみ	6
8/10	Jリーグ観戦招待	めぐみ	2
8/11	バンブー 大庄水産	女子	1
8/17	Jリーグ観戦招待	女子	2
8/20	バンブー まる大	なごみ	2
8/22	バンブー まる大	なごみ	4
8/24	静岡巽ライオンズ 夏祭り	全グループ	52
9/7	Jリーグ観戦招待	のぞみ なごみ	3
9/14	Jリーグ観戦招待	小学生	1
10/5	静岡ライオンズ 黄金の湯	全グループ	27
10/15	ふるさと 食事提供	全グループ	52
11/3	Jリーグ観戦招待	女子	2
11/17	静岡市食肉組合 食事提供	全グループ	50
12/28	バンブー ホルモンたけ田	女子	2
12/29	バンブー 大庄水産	女子	2
12/29	バンブー まる大	ひかり	4
12/30	バンブー まる大	なごみ	6
1/18	バンブー まる大	幼児	5
2/1	友の会友の家	小学生 ひかり のぞみ めぐみ なごみ	13
2/22	Jリーグ観戦招待	小学生	2
2/26	こくみん共済 映画鑑賞	小学生 女子 ひかり のぞみ なごみ めぐみ	15
2/27	バンブー 大庄水産	男子	6
3/16	Jリーグ観戦招待	のぞみ	2
38回			延 375 人

(3) 県養協行事

月日	行事名	結果	児童数
R6.5/11	児童文化奨励絵画展表彰式	金賞 1 名、銀賞 2 名、銅賞 3 名、佳作 2 名	8
8/22	夏季スポーツ交流会	中高生の部 敢闘賞	7
11/4	オセロ大会	U13 の部 3 位	8
R7.1/19	冬季スポーツ交流会	小学生男子の部 第 3 位 小学生女子の部 準優勝	7

5 ボランティアの活動

(単位：人)

活動内容	協力者	人数	延人数
余暇支援	大学生（常葉大学、静岡県立大学）	2	3
	一般	3	56
学習指導	常葉大学ボランティアサークル「つくしんぼ」	12	94
	大学生（静岡県立大学）	1	2
環境整備	一般	2	50
	御前崎市更生保護女性会	13	13
散髪	出張散髪	1	123
	チェリー床や	1	7
	ビューティー高田	1	13
	ユリ美容室	1	17
	美容室 Mu	1	15
		38	延 393 人

6 心理対応

(1) スーパービジョン

(単位：人)

年月日	対象児童	テーマ・内容	講師	参加職員数
4/21	5 名	昨年度のケースの振り返り	三田 Dr.	12
5/24	5 名	昨年度のケースの振り返り	奥村 Dr.	11
6/16	年長女児	本児の発達的特徴、今後の支援方針	三田 Dr.	9
7/12	高 1 男児	特徴の医学的捉え、今後の支援方針	奥村 Dr.	9
9/20	高 1 女児	特徴の医学的捉え、今後の支援方針	奥村 Dr.	14
9/29	小 3 女児	本児の発達的特徴、今後の支援方針	三田 Dr.	17
10/20	小 3 女児	本児の発達的特徴、今後の支援方針	三田 Dr.	15
11/15	中 2 女児	特徴の医学的捉え、今後の支援方針	奥村 Dr.	18
12/8	年少男児	本児の発達的特徴、今後の支援方針	三田 Dr.	16
1/17	高 2 女児	特徴の医学的捉え、今後の支援方針	奥村 Dr.	17
2/16	小 2 女児	本児の発達的特徴、今後の支援方針	三田 Dr.	19
3/6	高 1 男児	特徴の医学的捉え、今後の支援方針	奥村 Dr.	20
	計 12 回			延 177 人

*子どもや家族への支援向上を目指す現場重視の事例検討

講師：奥村 Dr.（精神科医）、三田 Dr.（小児科医）

(2) グループセラピー

グループセラピー	対象児童	実施回数	目的・内容
感覚遊び ワークショップ	希望児童	3／年	乳幼児期に十分に遊ぶことのできなかった子どもたちへ、遊びの中でも初歩的と言える感覚遊びを楽しむ場を、年齢を問わず提供する。
変身セラピー	希望児童	3／年	特別な衣装やアクセサリ等を用いて、子どもたちが自由に変身できる場を提供する。変身を通じて、子どもたちが抱える傷つきやねじれに働きかけ、子どもたち自ら癒す力を得ることを目的とする。
グループ 心理療法	小学3年	10回	遊びの中にソーシャルスキルトレーニングを取り入れ、子どもたちが楽しみながら生活技能を学べる場を設定する。勝敗のある遊びや、全員で一つのことに取り組む活動を通して、集団で最後まで楽しく遊ぶためのスキルや感情のコントロールについて学べるように支援する。

(3) プレイセラピー

対象児童	実施回数	実施時間	目的・内容
6人	3回／月	45分×3人	遊びを通して関わることで、子どもの不全感や怒り、劣等感、寂しさ等の感情を緩和・軽減させる。 講師から児童支援に関する助言をいただき、児童相談所(児童心理司)を交えた3者で密な連携を図る。

*講師：松平准教授（静岡県立大学短期大学部）

(4) その他心理療法等（単位：回）

個別面接	生活場面面接
122	595

7 児童の健康管理

(1) 月別受診状況

(単位：人)

年月	外科 整形外科	内科 小児科	眼科	歯科	皮膚科	耳鼻科	神経科 その他	計
6年4月	3	20	2	4	8	5	6	48
5月	2	21	2	6	4	4	3	42
6月	4	14	8	0	8	5	4	43
7月	0	25	5	7	6	8	4	55
8月	0	16	1	5	8	4	5	39
9月	2	25	6	4	9	3	3	52
10月	3	23	1	1	8	2	4	42
11月	5	31	2	8	8	9	9	72
12月	16	21	5	3	3	9	9	66
7年1月	5	13	1	6	4	4	7	40
2月	3	23	0	7	0	6	6	45
3月	4	28	1	5	5	7	8	58
計	47	260	34	56	71	66	68	602

(2) 健康診断・予防接種

(単位：人)

区 分		実施日	対象児童	人数	備考
健康診断		R6.8/23	幼児～高3	48	
		R7.3/25	幼児～高2	38	
予 防 接 種	日本脳炎	R6.8/20	小学生	3	2期
	二種混合（ジフテリア・破傷風）	R6.8/20	小学生	3	2期
	MR	R6.8/20	幼児	1	2期
	HPV ワクチン	R6.8/20	中学生	1	1回目
		R6.9/20	高校生	1	1回目
		R6.9/27	高校生	1	1回目
		R6.10/28	中学生	1	1回目
		R6.10/30	社会人	1	1回目
		R6.11/6	高校生	1	1回目
		R6.11/6	高校生	1	2回目
		R6.11/8	高校生	2	1回目
		R6.11/9	大学生	1	1回目
		R6.11/27	高校生	1	2回目
		R6.12/12	中学生	1	1回目
		R6.12/13	社会人	1	2回目

区 分		実施日	対象児童	人数	備考
		R6.12/16	高校生	2	2回目
		R6.12/16	大学生	1	2回目
		R7.3/14	社会人	1	3回目
		R7.3/21	高校生	1	3回目
		R7.3/25	高校生	2	3回目
		R7.3/25	大学生	1	3回目
		R7.3/28	中学生	1	2回目
		R7.3/31	高校生	1	3回目
	インフルエンザ	R6.10/23	高校生	1	
		R6.11/6	中学生	1	
		R6.11/15	中学生	1	
		R6.11/19	小学生	1	
		R6.11/19	幼児	1	
		R6.11/25	中学生	1	
		R6.11/26	中学生	1	
		R6.11/29	高校生	1	

8 新型コロナウイルス感染者数

区 分	人 数
児 童	9人
職 員	11人

9 家族（保護者）支援等の状況

(1) 家族（保護者）との交流状況

（令和7年3月1日在籍児童：人）

交流あり				交流なし	計
外泊	外出	面会	電話・手紙		
16	15	4	4	10	49

(2) 家族（保護者）との交流頻度

（単位：人）

区分	月1回以上	年2回～11回	年1回位	計
外泊	9	4	3	16
外出	5	6	4	15
面会	0	2	2	4
電話・手紙	0	0	4	4

(3) 一時帰省状況

(単位：人)

区分	期間	児童数	備考
夏季	8/10～17	29	夏季・冬季ともに個別のケース対応により期間 長短あり
冬季	12/28～1/4	34	

(4) ショート・ルフラン里親

(単位：人、日)

区分	6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年1月	2月	3月	計
児童数	9	10	13	13	12	11	10	11	10	8	8	8	123
延日数	25	26	29	35	53	29	22	25	17	43	23	20	347

10 子どもの意向・苦情（こどもの声への投書）

(単位：件)

要望	改善提案	苦情	感謝	その他	計
21	0	0	0	0	21

11 防災・安全対策実施状況

(1) 教育

(単位：人)

月日	教育内容	参加児童数	参加職員数
5/7	消防設備（非常用放送設備・自動火災報知設備）取扱説明	0	8
6/29	「避難情報」と「防災気象情報」について説明 防災DVD視聴「ズッコケ三人組防災教室」	10	6
12/14	県防災センター見学「Dコース90分防災シアター火山災害」	10	5
	計3回	延20人	延19人

(2) 防火・防災訓練

(単位：人)

月日	訓練名称	想定災害	実施 時間帯	訓練内容						
				通報	初期 消火	消火 訓練	避難	その他	参加人員	
									児童	職員
4/20	避難訓練	地震・火災	日中		○	○	○		12	6
5/18	避難訓練	地震・火災	日中		○	○	○		14	8
6/29	避難訓練	地震	日中	○	○	○	○	自衛消防訓練通知 防災DVD視聴	10	6
7/20	避難訓練	土砂災害	日中				○		15	7
8/18	避難訓練	地震	日中				○	情報伝達訓練（職員）	15	5
9/16	避難訓練	地震	日中				○		16	6
10/26	避難訓練	火災	日中		○	○	○		12	6
11/5	社会福祉施設 防災の日訓練	地震・火災	日中	○	○	○	○	消防署立会い 避難救助袋使用訓練 保育学園と合同訓練	7	11
12/7	避難訓練	火災	日中		○	○	○		9	7

月日	訓練名称	想定災害	実施 時間帯	訓練内容						
				通報	初期 消火	消火 訓練	避難	その他	参加人員	
									児童	職員
1/18	避難訓練	地震・火災	日中		○	○	○		13	9
2/1	避難訓練	地震・火災	日中		○	○	○		13	3
3/24	避難訓練	火災	日中		○	○	○		17	10
	計 12 回								153	84

(3) 点検・検査

項目	月日	
消防用設備点検	5/7	11/5
空調設備点検・清掃	5/16	12/10
ロスナイ点検・清掃	5/27	11/15
貯水槽点検・清掃	7/8	
建築設備定期検査（建築設備・防火設備）	10/18	
簡易専用水道検査	11/29	
電気設備年次点検	3/4	

12 関係機関等との連携

(1) 児童相談所との連携

連絡会			その他
月日	児童相談所	内容	
6/14 6/28 11/15 12/16	静岡市児童相談所	措置児童の情報交換 進路、家庭引き取り、里 親委託、措置変更など	個別ケースの連絡・面接・ ケース検討会等の実施
6/17 11/25 12/16	静岡県(中央・富士)児 童相談所		

(2) 幼稚園・学校との連携

幼稚園・学校名	月日	内 容
かえで幼稚園	2回／年	新入園児のホームでの生活の様子等
安西小学校	7回／年	児童の学校での様子やホームでの生活等の情報交換
井宮小学校	随時	ケース検討会及び児童の学校での様子やホームでの生活等の情報交換
末広中学校	随時	児童の学校での様子やホームでの生活等の情報交換
籠上中学校	随時	ケース検討会及び児童の学校での様子やホームでの生活等の情報交換
各高等学校	随時	学期ごとの面接、進路面接など

13 地域交流と地域支援

(1) 地域交流

(単位:人)

月 日	内 容	参加児童数	参加職員数
R6.5/11	神明町こども会総会	0	1
5/12	籠上資源回収	0	1
6/16	神明町資源回収	0	1
7/24~28	井宮町子ども会ラジオ体操	2	2
7/28	井宮神社清掃	0	1
8 /11	井宮町子ども会町内夏祭り	15	8
8/25	籠上ゴミ拾い	0	1
9/7	浅間神社みこし祭り	3	1
9/14	神明町祭子どもみこし	3	1
9/14.15	神明町祭り	6	1
10/6	安西学区大運動会	16	6
10/12	籠上白髭神社子ども神輿（巫女舞）	4	2
11/10	井宮町秋フェスタ	13	5
11/24	神明町防災訓練	3	1
12/15	籠上クリスマス会	1	1
R7.1/26	籠上学区清掃	0	1
1/31	籠上子供会総会	0	1
2/1	籠上子ども会豆まき	2	1
2/2	井宮町おもちつき	13	5
3/9	井宮町子ども会入退会式	2	1
3/8	神明町子ども会	0	1
21 回		延 83 人	延 43 人

(2) 地域支援

ア ショートステイ受入れ

(単位：人)

区分	6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年1月	2月	3月	計
児童数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2

イ レスパイト受入れ

(単位：人)

区分	6年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年1月	2月	3月	計
児童数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ウ 施設開放

月日	団体	内容	場所
R6.7/7	井宮町自治会	町内親睦グランドゴルフ大会	グラウンド
9/9	常葉大学短期大学部 1 年	施設見学	本体施設
11/10	井宮町自治会	井宮町秋フェスタ	本体施設
12/2	静岡市立看護専門学校	研究授業インタビュー	本体施設

14 職員研修実施状況

(1) 職場内研修

ア 全職員

月日	研修内容	講師
R6.5/2	児童相談所の現状と課題	鈴木園長
6/6	児童虐待の現状と対応	鈴木園長
7/4	AED 講習会	総合警備保障(株) 静岡支社
9/5	社会的養護の現状	鈴木園長
10/3	里親委託と養子縁組	鈴木園長
11/14	感染症及び食中毒予防対策研修	竹下看護師
12/5	子どもの権利擁護と施設内虐待	鈴木園長
12/5	子どもがスマートフォンを利用するにあたって	静岡県警察本部生活安全部
R7.1/9	ハラスメント研修	社会保険労務士 小山圭子
2/6	マルトリートメントについて	鈴木園長

イ 新任職員

月日	研修内容	講師
R6.4/18	エピソード記述 1 (2.3 年目)	西田スーパーバイザー
R6.5/17	CARE プログラム研修Ⅰ	静岡ホーム職員
5/27	CARE プログラム研修Ⅱ	
6/13	CARE プログラム研修Ⅲ	
6/20	被虐待体験を有する子どもへの対応 (新採)	西田スーパーバイザー
7/9	性教育研修会	静岡市児童相談所保健師
7/11	エピソード記述 2 (2.3 年目)	西田スーパーバイザー
10/24	児童福祉現場に必要な面接スキル 1 (新採)	西田スーパーバイザー
11/21	エピソード記述 3 (2.3 年目)	西田スーパーバイザー
R7.1/23	児童福祉現場に必要な面接スキル 2 (新採)	西田スーパーバイザー
1/27	コモンセンス・ペアレンティング研修Ⅰ	静岡ホーム職員
2/19	コモンセンス・ペアレンティング研修Ⅱ	
2/20	エピソード記述 4 (2.3 年目)	西田スーパーバイザー
3/3	新任 (入職前) 研修 1	静岡ホーム職員

月日	研修内容	講師
R6.4/18	エピソード記述 1（2.3 年目）	西田スーパーバイザー
3/5	新任（入職前）研修 2	
3/25	新任（入職前）研修 3	
3/28	新任（入職前）研修 4	
3/30	新任（入職前）研修 5	
3/19	公文学習新任職員研修	公文教育研究会法人事業部

ウ 中堅職員

月日	研修内容	講師
R6.5/23	被虐待体験を有する子どもへの対応	西田スーパーバイザー
9/19	チームのひずみ・援助者のセルフケア	
12/12	恥の理解と修復	

エ 小規模施設職員スキルアップ（ロールプレイ）研修

月日	対象施設	講師
R6.6/10	分園型小規模グループケア のぞみ	西田スーパーバイザー
6/13	地域小規模児童養護施設 ひかり	
7/8	分園型小規模グループケア のぞみ	
7/18	地域小規模児童養護施設 ひかり	
9/19	分園型小規模グループケア のぞみ	
9/30	地域小規模児童養護施設 ひかり	
10/10	地域小規模児童養護施設 ひかり	
10/17	分園型小規模グループケア のぞみ	
11/8	地域小規模児童養護施設 ひかり	
11/20	分園型小規模グループケア のぞみ	
R7.1/16	分園型小規模グループケア のぞみ	
1/16	地域小規模児童養護施設 ひかり	

(2) 職場外研修

ア 全社協・県社協等研修

（単位：人）

月日	研修会名	会場	参加職員数
R6.8/9	安全運転管理者講習	静岡市	1
9/6	静岡県立磐田学園児童精神医学の基礎知識	ZOOM	2
12/16	静岡県立吉原林間学園暴力防止研修会	富士市	2
12/24	全国退所児童等支援事業連絡会	ZOOM	1

月日	研修会名	会場	参加職員数
R7.1/22～1/24	日本キリスト教児童福祉連盟中堅職員研修会	東京都	1
2/10	ブリッジフォースマイル勉強会「拠点事業」	ZOOM	1

イ 全養協・県養協研修

(単位：人)

月日	研修内容	会場	参加職員数
6/11	県養協・県乳児協新任職員研修会	静岡市	7
6/24	養育・権利擁護セミナー	神奈川県	1
6/27	県養協指保部会研修 1	三島市	1
7/9.10	関東ブロック児童養護施設研究協議会	静岡市	4
9/5	養育・権利擁護セミナー	東京都	1
9/10	県養協指保部会研修 2	焼津市	3
10/8	県養協指保部会研修 3	富士市	2
10/9.10	関東ブロック児童養護施設職員研修会	埼玉県	2
10/22～24	全国児童養護施設長研究協議会	石川県	1
12/10	県養協指保部会研修 4	浜松市	3
12/10.11	社会的養護を担う児童福祉施設長研修会	兵庫県	1
12/19	静岡県児童権利擁護推進研修会 1	静岡市	2
1/16	静岡県児童権利擁護推進研修会 2	静岡市	1

15 実習生の受入れ

(単位：日、人)

区分	期間	日数	人数	実習校
保育実習Ⅰ	4/22～5/3	10	1	静岡産業技術専門学校
	5/13～5/24	10	1	東海こども専門学校
	8/8～8/19	20	2	常葉大学 草薙キャンパス
	8/19～9/1	12	1	静岡県立大学短期大学（子ども学科）
	8/20～8/31	20	2	常葉大学 草薙キャンパス
	9/17～9/28	30	3	常葉大学短期大学
	2/25～3/8	20	2	常葉大学短期大学
保育実習Ⅲ	5/21～6/1	20	2	常葉大学 草薙キャンパス
	2/6～2/17	10	1	聖隷クリストファー大学
ソーシャル ワーク実習	5/13～6/8	27	1	日本総合研究所 社会福祉士養成所
	8/19～9/19	32	1	静岡英和学院大学
	10/3～11/24	53	1	星槎大学
	3/7～3/12	8	1	静岡県立大学短期大学部
計（延日数・実人員）		272	19	

16 インターンシップの受入れ

(単位：人、日、校)

参加者数	参加延日数	学校数	参加者の在籍校
4	8	4	常葉大学、常葉大学短期大学部、静岡福祉大学、社会人

17 里親支援の状況

<里親会及び里親支援機関との連携>

月日	内容	参加児童数	参加職員数
4月、7月、10月、1月(年4回)	支援機関会議	—	1
1/14	ケースカンファレンス	—	5
雨天中止	1日里親体験事業	0	0
12/26、12/28、12/29	ショートルフランの調整	4	1
計9回		延4人	延7人

18 視察研修の受入れ

(単位：人)

月日	団体名	人数
4/4	静岡市子ども未来局長ほか	3
5/20	静岡県健康福祉部部長代理ほか	3
7/13	認定 NPO 法人活き活きネットワーク のびっこハウス	3
11/27	袋井市第2地区民生児童委員	18
11/18	御前崎市更生保護女性会	14
12/9	浜松医大高貝 Dr.及び県立三方原学園	4
12/24	自立援助ホーム link	3
R7.1/24	児童養護施設星美ホーム	2
	計8回	延 50 人

